

R 6 年度 学校評価に対する対応策

(1) 中間的な評価を実施し見直しを行ったこと

ア 課外の見直し

- ・これまでの3年土曜課外を廃止し、全学年を対象に月曜7限目を実施した。検定等の合格に向けて、生徒が自分で見通しを立てて取り組むことを通して、自学自習の習慣を定着させ、学習意欲を向上させることを目的とし、3年生の進学希望者（大学等）に対しては講座を別に設け、大学入試問題等の演習、解説を行った。

イ 進路指導について

- ・進路希望調査を昨年度はFormsで実施したが、今年度は紙ベースに戻した。紙を用いて保護者にコメントを記入してもらうことを通して、生徒と保護者が話し合いをするきっかけをつくることを目的とした。

ウ 総合的な探究の時間

- ・これまで別の活動を実施してきた1学年普通科と商業科の総探の授業を共通のものを実施した。科を越えて生徒同士がコミュニケーションを取ることができるようになった。
- ・2学年普通科が、公民館の方に自分の研究について説明しコメントや質問をいただく「ヒアリング」や、外部の方や組織に夏休み中にインタビューを行う「外部探究」を実施。地域連携や個人研究を深める1つのきっかけとなった。

(2) 評価結果に基づく今後の改善方策等

ア 自主的に学習する環境づくりについて

- ・今年度の新たな取り組みであった月曜7限目のより有効的な活用方法について検討を行う。また朝の読書の時間については現在「朝の学習」の時間とすることを検討中であり、これも含めて生徒に自学自習の習慣を定着させる方策を検討する。

イ 保護者や地域への情報発信について

- ・学校での活動を実際に見たいという保護者の自由記述がどの学年でも見受けられた。PTA総会時の授業見学や総合的な探究の時間の発表会での保護者参観案内の充実の検討、ホームページの一層の更新等を行う。

ウ 生徒指導の方針について

- ・アルバイトの規定については現在検討中である。上記イも併せて実施することで、保護者により学校について知ってもらうことで、生徒指導についても理解を得られるようにしていく。